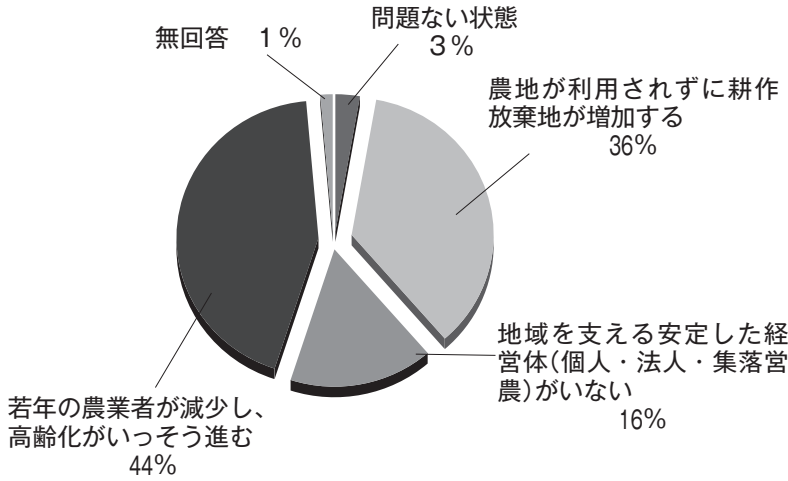


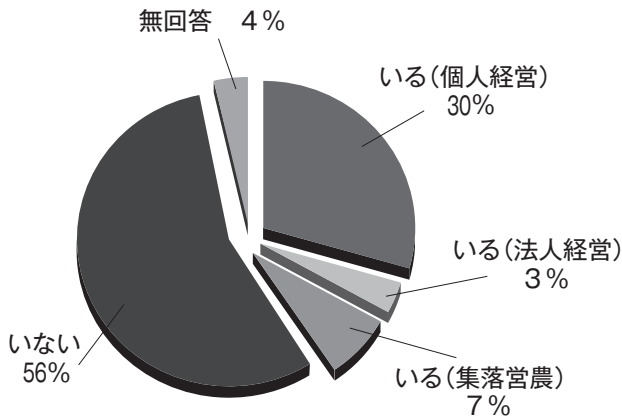
グラフ1

あなたの集落・地域の農業(人と農地)は、放っておくと10年後にどのようになっていると思いますか。



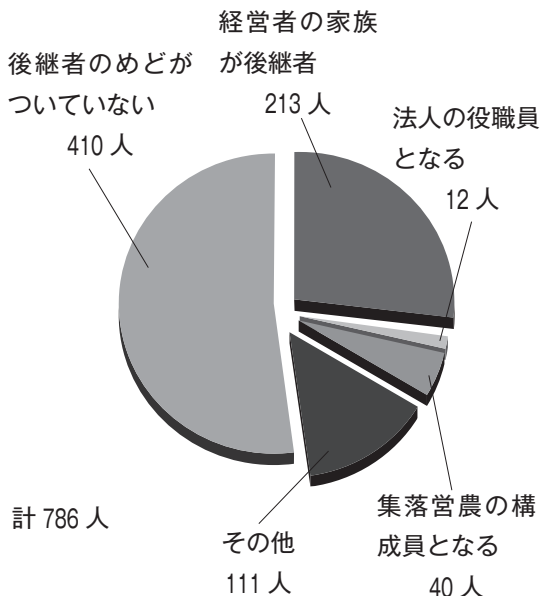
グラフ2

あなたの集落・地域には現在、中心となる経営体(個人・法人・集落営農)がいますか。



グラフ4

後継者に対する考え方

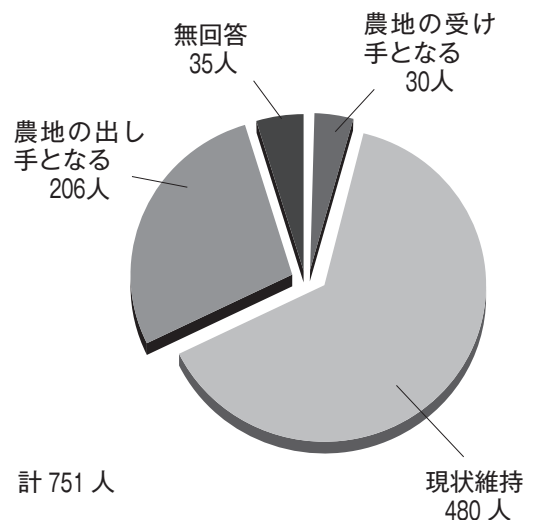


また集落・地域内に、中心となる経営体がないという現状が浮き彫りになっていきます。(グラフ2)

今後の経営に関して、農地については、現状維持としながらも、(グラフ3)後継者については、「めどが付いていない」という農家が半数以上を占めています。(グラフ4)

グラフ3

あなた自身の今後の経営(農地に対する考え)は、どうしていくおつもりですか。



持続可能な農業を実現するために 人・農地プランに取り組みます

担い手と農地の課題

現在、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」があり、5年後、10年後の展望が描けない地域が増えています。

町では5月に、集落農政推進協議会長を通じ、人と農地に関するアンケートを実施しました。

その結果の概要について、お知らせします。

(アンケート実施期間平成25年5月1日から31日、対象者

1,292人、回答者793人、回答率61.38%)

○アンケート結果の概要

回答された方の多くが、農業者の高齢化、担い手の不足、耕作放棄地の増加など、農業への将来的不安をあげています。(グラフ1)